

STS-114搭乗員



野口 聡一
船外活動担当(MS1)



アイリーン M. コリンズ
(Eileen M. Collins)
船長: Commander



ジェームス M. ケリー
(James M. Kelly)
パイロット: Pilot



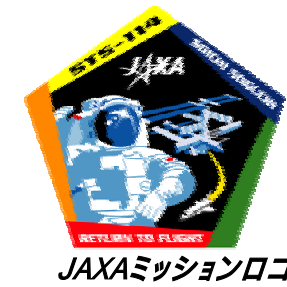
スティーブン K. ロビンソン
(Stephen K. Robinson, Ph.D.)
船外活動担当(MS2)

STS-114 スペースシャトル飛行再開及び野口宇宙飛行士 ミッション概要

委 1 6 - 2 別添



NASAミッションロゴ



JAXAミッションロゴ

STS-114搭乗員



アンドリュー トーマス
(Andrew Thomas)
船内からの船外活動
支援担当(MS3)



ウェンディー ローレンス
(Wendy Lawrence)
ISSロボットアーム操作担当
(MS4)



チャールズ カマダ
(Charles Camarda)
スペースシャトルロボット
アーム操作担当(MS5)

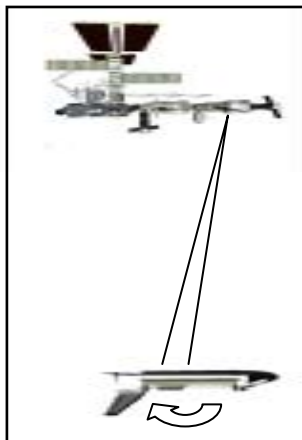
飛行日 5日目

1回目の船外活動: 耐熱タイル修理技術の検証(イメージ)



飛行日 3日目

ISSからの400mm/800mm望遠レンズによるタイル撮影及び、ISSとのドッキング(イメージ)



飛行日 2日目

ロボットアームとセンサー付き検査用延長ブーム(OBSS)を利用した耐熱タイル等の点検(イメージ)



飛行日 1日目

分離した外部燃料タンクの撮影作業(イメージ)



打上げ: 米国フロリダ州
NASAケネディ宇宙センター

飛行日 6日目



多目的補給モジュール(MPLM)からISSへの物資の輸送(イメージ)

飛行日 7日目



2回目の船外活動: 姿勢制御ジャイロ(CMG)の交換(イメージ)

飛行日 9日目



3回目の船外活動: 船外保管プラットフォーム(ESP-2)の取付 / 材料曝露実験機器(MISSE)の取付・回収(イメージ)

飛行日 10日目



政府要人との
交信イベント(予定)

飛行日 11日目



ISSから分離
(イメージ)

飛行日 13日目



大気圏再突入
(着陸約30分前)
(イメージ)



着陸: NASAケネディ宇宙センター
(フロリダ州)

代替着陸地:
ドライデン飛行研究センター(カリフォルニア州)
ホワイトサンス試験場(ニューメキシコ州)

オービタ名称: ディスカバリー号

搭乗員数: 7名

打上げ可能期間: 2005年5月22日~6月3日

打上げ予定日: 米国東部夏時間 2005年5月22日以降

22日の場合 13:04 打上げ(日本時間 2005年5月23日 02:04)

打上げ場所: NASAケネディ宇宙センター(KSC)(フロリダ州)

軌道高度: 投入高度: 約226km ISSとのランデブー高度: 約379km

飛行期間: 13日間(飛行日)

帰還予定日: 米国東部夏時間2005年6月3日以降

3日の場合 08:36 帰還(日本時間 2005年6月3日 21:36)

ディスカバリー号: 31回目の飛行 ISS組立て: 17回目のシャトルの飛行

STS-114ミッション概要

(1) 軌道上検査・修理技術の検証

シャトル翼の耐熱タイル等の損傷程度の軌道上点検
船外活動(EVA)による耐熱タイル修理技術の検証

(2) ISSの補給・修理

現在故障しているISS姿勢制御用ジャイロ(CMG)の交換・修理
物資(ISS予備品、食品、衣類、飲料水など)の補給
曝露機器の保管に用いる船外保管プラットフォーム(ESP-2)の取付け
宇宙使用に適した材料を調べる材料曝露実験機器の取付け・回収

野口宇宙飛行士の主要任務

(1) 船外活動の実施(3回)

- 1) 耐熱タイルの修理技術の検証(飛行5日目)
- 2) CMGの交換(飛行7日目)
- 3) ESP-2の取付け、及び材料曝露実験機器取付・回収(飛行9日目)

(2) ISS物資の運搬

シャトル飛行再開及びきぼう(JEM)の打上げ予定

2005年	2007年~2008年
5月~6月 STS-114	
7月 STS-121	補給部 与圧部 曝露部 与圧区
(注) 米国シャトル飛行再開フライト	(注) 日本実験棟の組立て

略語

CMG: Control Moment Gyro
ESP-2: External Stowage Platform
ISS: International Space Station
MISSE: Materials ISS Experiment
MPLM: Multi Purpose Logistics Module
OBSS: Orbiter Boom Sensor System
RCC: Reinforced Carbon Carbon